総合的な学習の時間・小学校・4年 市川町立甘地小学校 教諭 松本 正樹 学習テーマ 世界と日本の環境の違いを調べよう

「発信!わたしの学校・わかった!イギリスの生活」

目 標

- ・3 R 環境学習をすすめながら、世界と日本の環境を調べる。
- ・イギリスの小学校との身近な生活環境の交流を進めながら、自分たちの生活・環境を調 べ、伝える意欲を高める。
- ・英語に関心を持ち、すすんで使おうとする意欲を高める。 コンピュータを活用する利点
- ・意見交流

ネットワークコンピュータを利用することで、収集した情報(写真・インターネット情 報など)について課題に応じた意見交流が行える。

・情報発信と情報収集

交流校 イギリス

とを知る。

インターネットを活用し、交流掲示板・ホームページを利用しながら、イギリス交流校 と共通課題についてリアルタイムの交流活動ができる。

(交流支援組織 ジャパン21:在英チャリティー団体) ICT 活用場面

課題設定

「わたしたちの生活を交流校に伝えよう」をテーマに し課題設定を行った。子どもたち一人ひとりの思いを 大切にしながら課題別にグループを編成する。4年生 は2クラスあり全員の意見を共通理解するために、校 内ネットワークを使い掲示板にて意見交流を進めた。



授業の流れ (全11時間)

わたしたちのことを伝えよ

チョップウェル小学校のこ

う。 意見交流と課題設定 スタディノート掲示板

伝えたいことを課題別に まとめよう。

- ・デジタル写真
- ・説明文書作成

交流冊子にして送付

ビデオ作品を制作する。

交流校に届いた交流冊子についての多くの感想がイン ターネット交流掲示板を通し届けられた。

セーラ チョップウェルプライマリー 7月13日(木)こんにちは、 あやのちゃん。運動会、楽しそうだね。みんなからの本が届いたよ。 デザインと写真がすてきでした。わたしたちは毎週月曜日にプールに 行っているのだけど、みんなのプールの写真を見たらとっても大きそ うだったね。水泳は週にどれくらいするの?セーラより

交流ビデオ作品を作って届 けよう。

グループ別に短い文章で伝 えたいことをまとめる。

英訳・発音をジャパン 2 1 に 依頼し、英語のシナリオにす る。

英語で伝える練習をする。

交流ビデオづくり 各グループ別に練習、収録

作品を郵送する イギリス交流校から作品視 聴の受信

交流掲示板から感想の収集

そして、より詳しく自分たちの言葉で伝えたい意欲につながっていった。伝えたい内容について話し合い、できるだけ短い文章で伝えることを話し合った。子どもたちの考えた文章の英訳をイギリスの支援組織ジャパン 21 に依頼した。発音についてもインターネットを使い音声ファイルで届けてもらうことができた。

英語で伝えよう

- ・学校のこと
- ・学習の様子
- ・地域のこと
- ・環境学習のこと



大文文 大文文 大さ語、組ち章る でをし練。ら語に の単もにどえ発い の単もにどえ発い。 の単もにどえ発い。 の単もにとえ発い。 のがした。

子どもたちの考! We're going to tell you about our lessons.

学習の様子をお知らせしますね。 This is a Japanese lesson. Kanji are difficult.

国語の学習です。漢字がむずかしいです。 We are raising fireflies.

わたしたちは、ホタルをそだてているよ。 There are lots of fireflies along the river near here. 私たちの近くの川にはたくさんのホタルがいます。

各グループ別に発音練習を行い、伝え方について話し 合いを深めることができた。

交流校からもビデオ作品が届き、内容について交流掲示板を使いながら文化交流・環境学習交流をすすめた。

ダニエル、チョップウェル みなさんのビデオはとてもよかっ たし、英語もすばらしいと思いま

す。ビデオは本当に楽しかったです。新学期が始まって一週目に、甘地小学校とチョップウェルの交流についての集会がありました。学校全体でみなさんのビデオを見たんですよ。ダニエルより



成果と課題

ICT の活用によって情報の発信・収集をより深く進めることができた。個人の発信からグループの交流学習へ、そしてインターネットを活用した国際交流学習へと情報の活用能力を高めることにつながった。また、ビデオ作品の制作による発信にも意欲を高めることになった。子どもたちの伝えようとする目標がはっきりしており、自らの文章に英語を重ねることでコミュニケーションの道具として英語に触れることができた。英語は、ふれあう道具であったが、これからは言葉としてより関心を持ち、学習していくことができるだろう。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	・PC20台・電子情報ボード・ビデオカメラ・校内ネットワーク
使用ソフト名	・スタディノート ・インターネットエクスプローラ
使用教室	・コンピュータルーム ・普通教室